

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R2年度					R3年度						
			R2 担当	R2年度の取組計画(目標)	R2年度の取組実績	取組 等達成 度	R2年度の成果・効果	成果 等達成 度	R3 担当	R3年度の取組計画(目標)	R3年度の取組実績	取組 等達成 度	R3年度の成果・効果	成果 等達成 度
1 確かな学力を育む(知育)	成果	(1)基礎学力の定着と学力の向上 【市総合計画指標】 全国学力・学習状況調査における各教科の正答率 小学校:全国平均+5ポイント 中学校:全国平均+3ポイント	学校 教育係 (指導主事)	学力調査の実施と分析 ①各種学力調査の実施 ②校長会での周知徹底 ③教育研究所と連携して調査結果の分析 ④課題のある学校への訪問と対応策の聞き取り ⑤中学校教科部会の実施	①R2.7 全国学力学習状況調査ー市単独での実施 R2.12.10 高知県学力定着状況調査実施 ②6月を除く全ての校長会で周知 ③調査分析結果をR2.7月、8月、2月校長会で各校に伝達 ④6-7月、9-10月に全校実施 ⑤教育研究所主催で各教科で実施	A	全国学力調査問題を活用し実施(自校採点のみ) 6年生 国語:77.0、算数:71.9 昨年度 国語:70.9(全国:63.8) 算数:72.2(全国:66.6) 中3生 国語:83.1、数学:60.4 昨年度 国語:78.8(全国:72.8) 数学:65.2(全国:59.8)	—	学校 教育係 (指導主事)	学力調査の実施と分析 ①各種学力調査の実施 ②校長会での周知徹底 ③教育研究所と連携して調査結果の分析 ④課題のある学校への訪問と対応策の聞き取り ⑤中学校教科部会の実施				
	成果	(2)教職員の資質・指導力の向上 年間を通じて3回の支援派遣を実現させる。	学校 教育係 (指導主事)	指導主事等、外部講師を招聘した校内研修の充実 ①校内研修の年間計画作成(外部講師等の招聘予定を明記)市教委に提出 ②学校経営計画の作成及び検証 ③授業改善プランの作成及び検証 ④各学期の支援派遣提出	①～④ 全25校で実施	A	3回以上実施校=25校(100%)	A	学校 教育係 (指導主事)	指導主事等、外部講師を招聘した校内研修の充実 ①校内研修の年間計画作成(外部講師等の招聘予定を明記)市教委に提出 ②学校経営計画の作成及び検証 ③授業改善プランの作成及び検証 ④各学期の支援派遣提出				
	成果	(3)保幼小中連携教育の推進 ①すべての学校で保幼小中の情報交換会を実施 ②すべての小学校でスタートカリキュラムを作成	学校 教育係 (主監)	保幼小中連携教育の充実とスタートカリキュラムの作成 ①保幼小中連携教育の研究指定校の設定 ②保幼小情報交換会の開催 ③保育所長会への参加 ④小中の連携教育の実施 ⑤小学校においてスタートカリキュラムの作成	①1校1役教育研究指定において八束小学校、中筋小学校、西土佐小学校を指定 ②、⑤全14小学校にて実施 ③R2.4月の保育所長会に参加 ④全25校で実施	A	①全25校で実施(100%) ②全14校で作成(100%)	A	学校 教育係 (主監)	保幼小中連携教育の充実とスタートカリキュラムの作成 ①保幼小中連携教育の研究指定校の設定 ②保幼小情報交換会の開催 ③保育所長会への参加 ④小中の連携教育の実施 ⑤小学校においてスタートカリキュラムの作成				
	成果	(4)国際理解教育・英語教育の充実 ①「全国学力・学習状況調査」英語において全国平均以上をめざす。 ②中3卒業段階において英語検定3級程度取得50%以上をめざす。	学校 教育係 (主監)	英語教育・外国語活動の充実 ①英語検定3級受験料半額補助 ②ALTの重点配置校の指定による英語力の底上げ ③小学校外国語活動に係る研修会の実施 ④中学校における4技能スコア型検定試験GTECの実施 ⑤四万十イングリッシュ・フェスティバルの実施	①年度内に事業実施(55名助成) ②重点配置校3校(中村中、中村西中、西土佐中)を指定 ③年度中に3回実施 ④10月に実施 ⑤コロナ禍により不実施	A	①全国学力・学習状況調査の英語がない年度のため標準学力調査の英語の結果を用いて評価(全国平均との比較) 本市中学3年生56.4÷全国平均59.0=成果目標に対する達成率95.6% ②中3卒業段階における英語検定3級程度取得率46.6%(成果目標に対する達成率93.2%)	A	学校 教育係 (主監)	英語教育・外国語活動の充実 ①英語検定3級受験料半額補助 ②ALTの重点配置校の指定による英語力の底上げ ③小学校外国語活動に係る研修会の実施 ④中学校における4技能スコア型検定試験GTECの実施 ⑤四万十イングリッシュ・フェスティバルの実施				
	活動	(5)特別支援教育の推進 ①障害のある子どもの能力や特性を最大限に伸ばす。 ②発達障害のある子ども、あるいはその疑いや傾向がみられる子どもの学習・生活支援 ③障害のある子どもの適正就学 ④特別支援教育学校コーディネーターの専門性の向上 ⑤校内支援体制の強化	学校 教育係 (主監)	ユニバーサルデザインに基づく学習環境の充実 特別支援教育支援員配置 相談支援体制の整備 特別支援教育学校コーディネーター研修会の実施	全25校で実施 11校への支援員を通年配置 教育相談実施(46人) 巡回相談実施(77人) R2.7、R2.11実施	A A A A	①学習環境の充実が図られた ②支援員を配置した11校において学習・生活支援が実施された ⑤支援員の配置により校内支援体制が強化された	○ ○ ○ ○	学校 教育係 (主監)	ユニバーサルデザインに基づく学習環境の充実 特別支援教育支援員配置 相談支援体制の整備 特別支援教育学校コーディネーター研修会の実施				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R2年度					R3年度						
			R2 担当	R2年度の取組計画(目標)	R2年度の取組実績	取組 等達成 度	R2年度の成果・効果	成果 等達成 度	R3 担当	R3年度の取組計画(目標)	R3年度の取組実績	取組 等達成 度	R3年度の成果・効果	成果 等達成 度
1 確かな学力を育む(知育)	成果	(6)複式教育の充実	(学)学校 校教育 係課 (指導 主事)	複式教育の充実 ①複式教育研究大会の実施 ②小小連携教育の推進 ③授業づくり講座への参加	①蕨岡小学校で実施 ②市内小規模校の①、③への参加 ③利岡小学校で実施(国語)	A	複式小学校6校中全校において研修に2回以上参加(100%)	A	(学)学校 校教育 係課 (指導 主事)	複式教育の充実 ①複式教育研究大会の実施 ②小小連携教育の推進 ③授業づくり講座への参加				
	成果	(7)情報教育の推進	(学)学校 校教育 係課	ICT機器及び通信環境の整備 ①PCの整備(小学校5、6年生、中学校1年生分) ②校内学習系ネットワークの整備	①コロナ対策により前倒しされ、小中学校全学年で整備を実施 ②R3休校予定校を除く全22小中学校で整備完了	S	①計画に対する整備率300%(9学年/3学年) ②必要校整備率100%(22校/22校)	S	(学)学校 校教育 係課	ICT機器及び通信環境の整備 ①PCの整備(中学校2、3年生分) ①導入したPCの授業等における利活用の推進(教職員の研修、授業用ソフトの活用等)				
	活動		(学)学校 校教育 係課 (指導 主事)	「情報活用能力」を教科等横断的に育成する。	各校におけるプログラミング教育の充実	全25校においてアンプラグドも含めたプログラミング教育を実施した。	A	プログラミング教育の実施を通して「情報活用能力」が教科等横断的に育成された。	O	(学)学校 校教育 係課 (指導 主事)	各校におけるプログラミング教育の充実			
2 子どもたちの豊かな心を育む(徳育)	成果	(1)豊かな心を育む教育の推進	(学)学校 校教育 係課 (指導 主事)	四万十市・三原村道徳教育推進委員会の開催・運営 ①4月・2月に全体の推進委員会の開催 ②小・中それぞれで公開授業研修会及び授業反省会の実施 ③実践のまとめ作成	①R2.6、R3.2に実施 ②全25校で実施 ③道徳の成果や課題学習、学習指導案をまとめた集録を全25校で作成	A	全国学力・学習状況調査は全国平均が示されなかったため、質問紙調査を活用し、市独自で昨年度と比較した。その結果、自尊感情、規範意識の項目で小6が規範意識が少し上昇したが、他は全て下降した。	—	(学)学校 校教育 係課 (指導 主事)	四万十市・三原村道徳教育推進委員会の開催・運営 ①4月・2月に全体の推進委員会の開催 ②小・中それぞれで公開授業研修会及び授業反省会の実施 ③実践のまとめ作成				
	成果	(2)いじめ・不登校問題等への取組	(学)学校 校教育 係課 (主監)	生活指導・生徒指導の充実〔不登校・問題行動等調査〕 ①月ごとの3日以上欠席者調査及び個々の状況把握とその分析(教育研究所) ②教育支援センター不登校児指導員・SSWによる家庭訪問 ③不登校担当者会の年2回の実施 ④学校訪問の実施	①月報により実施 ②教育支援センターに不登校児指導員4名、SSW2名を配置し、適宜適切に実施した。 ③R2.8、R3.1に実施 ④6-7月、9-10月に全校実施	A	令和元年度不登校人数(1,000人あたりの出現率)小学校14.1人(全国8.3人)中学校49.2人(全国39.4人)	B	(学)学校 校教育 係課 (主監)	生活指導・生徒指導の充実〔不登校・問題行動等調査〕 ①月ごとの3日以上欠席者調査及び個々の状況把握とその分析(教育研究所) ②教育支援センター不登校児指導員・SSWによる家庭訪問 ③不登校担当者会の年2回の実施 ④学校訪問の実施				
	成果		(学)学校 校教育 係課 (主監)	Q-Uアンケートの実施・分析を通じた学級づくりの推進 ①1学期及び2学期後半のQ-U実施を通して学級の状況把握 ②各学級の実態について共有化を図り、課題のある子どもへの対応策の実施	①全25校で実施 ②全25校で、校内研修や校内支援会において共有化・対応策の検討	A	1学期結果:73.5% 2学期後半:73.6% 満足群の子どもの割合が高まった(100.1%)。	A	(学)学校 校教育 係課 (主監)	Q-Uアンケートの実施・分析を通じた学級づくりの推進 ①1学期及び2学期後半のQ-U実施を通して学級の状況把握 ②各学級の実態について共有化を図り、課題のある子どもへの対応策の実施				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R2年度					R3年度							
			R2 担当	R2年度の取組計画(目標)	R2年度の取組実績	取組 等達成 度	R2年度の成果・効果	成果 等達成 度	R3 担当	R3年度の取組計画(目標)	R3年度の取組実績	取組 等達成 度	R3年度の成果・効果	成果 等達成 度	
2 子どもたちの豊かな心を育む(徳育)	(3)安全・防災教育の充実	成果	学 校 教 育 係 課	防災教育の推進・避難訓練の実施 ①危機対応マニュアル(防災マニュアル)の整備 ②「高知県安全教育プログラム」を使用した防災教育の実施率を100%とする。	①全25校で整備 ②、③全25校で実施 ・学校安全に係る拠点校(具同小)指定事業を実施	S	①各校において避難訓練の実施 年3回以上校が100% ②実施率100%	A	学 校 教 育 係 課	防災教育の推進・避難訓練の実施 ①危機対応マニュアル(防災マニュアル)の整備 ②想定状況を違えた年3回以上の避難訓練の実施 ③「高知県安全教育プログラム」を活用した防災教育の実施					
	(4)学校・家庭・地域の連携強化	成果	学 校 教 育 係 課	学校支援地域本部事業 ①学校支援地域本部事業推進 ②コミュニティ・スクールの設置に努める。	①全25校を対象に15本部で実施。 ②2月19日の運営委員会で取組内容等を発表。 ③R5年度に拡充する合意を形成	A	①25校で実施(100%) ②新設は0だが、目標年度はR5年度のためR2での成果判定を行わない。	A	学 校 教 育 係 課	学校支援地域本部事業 ①学校支援地域本部事業推進 ②コミュニティ・スクールの研究					
	(5)ふるさと教育の推進	成果	(学 校 教 育 係 課 指 導 主 事)	ふるさと教育の推進 ①各学校の年間指導計画に位置づけ ②四万十市一校一役教育研究の研究指定校の指定 ③「ふるさと発見! 四万十の子ども研究発表会」の開催	①全25校で実施 ②下田小、大用小、川登小、下田中、大用中、大川筋中を指定 ③コロナ禍により不実施	A	①全25校で位置づけ(100%) ②コロナ禍により不実施のため成果判定を行わない。	A	(学 校 教 育 係 課 指 導 主 事)	ふるさと教育の推進 ①各学校の年間指導計画に位置づけ ②四万十市一校一役教育研究の研究指定校の指定 ③「ふるさと発見! 四万十の子ども研究発表会」の開催					
	(6)キャリア教育の充実	活動	(学 校 教 育 係 課 指 導 主 事)	キャリアパスポート(学習記録ノート)を作成・活用する。	全25校で作成・活用 全25校で上級学年・上級学校への引継ぎ	A	社会で人と人が関わりながら生きていくために欠かせないスキルが身に付き、コミュニケーション能力の向上に繋がった	○	(学 校 教 育 係 課 指 導 主 事)	キャリアパスポート(学習記録ノート)を作成・活用					
	(7)環境教育の推進	活動	学 校 教 育 係 課	四万十川に代表される豊かな自然や水資源、森林資源など地域の恵まれた自然環境を有効活用し、体験活動を通して自然保護に対する意識の高揚を図る。	自然体験型学習事業の実施	コロナ禍のため未実施(中学校で合同実施を計画)	C	未実施のため評価不能(自然体験活動を通して自然保護に対する意識の高揚を企図)	△	学 校 教 育 係 課	自然体験型学習事業				
				学 校 教 育 係 課	山の学習支援事業の実施	市内6校を対象に実施。	A	自然環境を有効活用した学習を通して自然保護に対する意識の高揚が図られた。	○	学 校 教 育 係 課	山の学習支援事業の実施				
	(8)教育環境の整備	成果	学 校 教 育 係 課	四万十市立小・中学校再編計画(第2次)の推進 ①施設整備(中村西中学校大規模改造本体工事) ②スクールバスの購入・運行計画の策定 ③児童生徒の事前交流事業等の取り組み ④未合意校区との意見交換会、保護者アンケート等の実施	①本体工事を実施 ②2台購入、大川筋・後川線及び蔵岡線の運行計画策定 ③コロナウイルス感染症の影響により、二学期から事前交流事業を再開 ④未合意校区(下田・大用)ともに二回の意見交換会実施。下田地区では保護者アンケート及びその結果説明会実施。大用地区ではグループ協議実施。	A	本年時点での中学校再編に係る合意率75%(6校/8校)	B	学 校 教 育 係 課	四万十市立小・中学校再編計画(第2次)の推進 ①施設整備(中村西中学校大規模改造本体工事) ②蔵岡中学校、大川筋中学校、川登小学校の統合 ③スクールバスの購入・運行計画の策定 ④児童生徒の事前交流事業等の取り組み ⑤未合意校区との意見交換会、保護者アンケート等の実施					

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R2年度					R3年度						
			R2 担当	R2年度の取組計画(目標)	R2年度の取組実績	取組 等達成 度	R2年度の成果・効果	成果 等達成 度	R3 担当	R3年度の取組計画(目標)	R3年度の取組実績	取組 等達成 度	R3年度の成果・効果	成果 等達成 度
3 健やかな身体を育む (体育)	成果	<p>①体育・保健体育の授業が楽しいと思う児童生徒の割合95%以上を目指す。</p> <p>②【市総合計画指標】全国体力・運動能力、運動習慣等調査におけるT得点 小学校:全国平均以上 中学校:全国平均+3ポイント</p>	学学校校教育係課 (主監)	<p>体力・運動能力向上に向けた特色ある取組</p> <p>児童生徒の実態に基づく体力向上策の策定と実施(学校経営計画との関連を図る)</p>	全25校で学校経営計画に体力向上策を位置づけ、実施	A	①、② コロナ禍により調査未実施のため評価不能	—	学学校校教育係課 (主監)	<p>体力・運動能力向上に向けた特色ある取組</p> <p>児童生徒の実態に基づく体力向上策の策定と実施(学校経営計画との関連を図る)</p>				
	成果	<p>規則正しい生活リズムが身に付いている(毎日、同じくらいの時刻に起床)児童の割合75%以上、生徒の割合65%以上とする。</p>	学学校校給食係課	<p>基本的な生活習慣の定着に向けた学校と家庭が連携した取組の推進</p> <p>①学期に1回のアンケート調査の実施 ②学校便り等によるアンケート結果の家庭への情報提供 ③食生活調査の実施 ④学校給食摂取基準の作成(体重、身長から栄養価を出す。肥満傾向児出現率の算出) ⑤みそ汁コンテストの実施(給食献立に採用) ⑥給食時間の放送(早寝早起きについて啓発)</p>	<p>①全25校で実施。 ②全25校で実施。 ③6月実施。小5、中1対象。 ④4.5月実施の身体測定結果より計算し、6月摂取基準作成。 ⑤8月実施。小5以上対象。応募388、採用25件。 ⑥毎週月曜日実施。</p>	A	<p>(全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙 令和2年度調査結果) 設問「毎日、同じくらいの時刻に起きている」に対する「そう思う」の回答率 児童58.8%、生徒59.7%(達成率84.6%=(58.8+59.7)/(75+65))</p> <p>(参考:肯定的回答率 児童92.3%、生徒 94.3%)</p>	B	学学校校給食係課	<p>基本的な生活習慣の定着に向けた学校と家庭が連携した取組の推進</p> <p>①学期に1回のアンケート調査の実施 ②学校便り等によるアンケート結果の家庭への情報提供 ③食生活調査の実施 ④学校給食摂取基準の作成(体重、身長から栄養価を出す。肥満傾向児出現率の算出) ⑤みそ汁コンテストの実施(給食献立に採用) ⑥給食時間の放送(早寝早起きについて啓発)</p>				
	成果	<p>朝食を必ず食べる児童の割合を95%以上、生徒の割合を90%以上とする。</p>	学学校校給食係課	<p>食事の重要性について理解を図る年間指導計画の作成</p> <p>①食に関する指導の全体計画及び年間指導計画に基づく食育の推進 ②学校給食の献立から減塩化を図る</p>	①～② 全25校で実施	A	<p>(令和2年度 食に関する指導の実施状況調査) 朝食を必ず食べる児童の割合92%、生徒の割合83%(達成率94.5%=(92+83)/(95+90))</p>	A	学学校校給食係課	<p>食事の重要性について理解を図る年間指導計画の作成</p> <p>①食に関する指導の全体計画及び年間指導計画に基づく食育の推進 ②学校給食の献立から減塩化を図る</p>				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R2年度					R3年度						
			R2 担当	R2年度の取組計画(目標)	R2年度の取組実績	取組 等達成 度	R2年度の成果・効果	成果 等達成 度	R3 担当	R3年度の取組計画(目標)	R3年度の取組実績	取組 等達成 度	R3年度の成果・効果	成果 等達成 度
4 地域文化の振興	成果	(1)文化財の保護	社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	文化財調査の実施 ①利岡地区試掘確認調査 ②博物館展示のための調査 ③博物館収蔵資料に関する調査	①R2.6.8～R2.7.9 ② ・木戸明関連調査 ・蔵岡関連調査実施 ③ ・歴史資料目録作成調査 ・収蔵資料解読調査 ・寄贈資料確認調査 ・民俗芸能調査 ・黒尊川生態調査 ○新規文化財指定調整(県指定)	A	①8件(年間目標4件に対し200%) ②新規県指定文化財1件(年間目標0.4件に対し250%) ③博物館企画展4回(年間目標2回に対し167%) ④収蔵資料増加数5点(年間目標2点に対し250%)	S	社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	文化財調査の実施 ①開発事業に伴う試掘確認調査及び報告書作成 ②博物館展示のための調査 ③博物館収蔵資料に関する調査			【年度毎に漸増する成果指標の記載例備忘】 ②新規県指定文化財計画期間中累計●件(2年目累計目標0.8件に対し●%)	
	成果	(2)郷土文化の活用	社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	郷土博物館の運営 ①年間4回の企画展開催 ②小中学校と連携したふるさと教育への活用 ③普及イベントの開催	① ・四万十川あそびあるき展: R2.6月～7月 ・さらたび 鮎の塩焼き篇: R2.7月～10月 ・四万十風景ことはじめ展 R2.10月～3月 ・幡多の大教育者木戸明展 R3.1月～4月 ②小学校8校、中学校13校で出前事業を実施 ③観光イベント(ガストロミウォーク)との連携(3月)	A	博物館来館者数 2,900人(3月末見込、令和2年度目標5,200人に対し56%)	C	社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	郷土博物館の運営 ①年間4回の企画展開催 ②小中学校と連携したふるさと教育への活用 ③普及イベントの開催				
	成果		文化的景観の保全について各種事業と適切な調整が行われ、効果的な活用が継続される。 【市総合計画指標】 地域文化に関する講座数年間25回	社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	四万十川の文化的景観の保全・継承 ①まち歩きと連動したサイト運営 ②文化的景観サイン設置協議 ③生態・集落等モニタリング調査 ④くろそん手帖ツアー、展覧会の開催	①まち歩きと連動したサイト運営 ・イベント連携2回 ・企画展連携2回 ②調整済み ③R2.4～9月 実施 ④R2.9月、11月 開催	A	地域文化に関する講座32回(企画展連携1回、地域講演1回、学校講演6回、活用イベント4回、出前授業21回計24回)(目標回数に対し128%)	S	社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	四万十川の文化的景観の保全・継承 ①まち歩きと連動したサイト運営 ②文化的景観サイン設置協議 ③生態・集落等モニタリング調査 ④くろそん手帖ツアー、展覧会の開催 ④保存活用計画の見直し			
5 青少年の育成	成果	(1)青少年健全育成活動の充実	少年 学 校 補 導 セ ン タ ー 課	少年補導センター活動 ①街頭巡回 ②環境浄化活動 ③学校における情報モラル教室(非行防止教室)の開催 ④インターネット接続機器のフィルタリングの普及啓発(インターネットの利用ルール啓発)	①(3月末見込回数) 午前巡回 208回 下校時巡回 194回 合同早朝バト 23回 夜間バト 9回 ②(3/19時点) 巡回時の声かけ2,085回、指導251回(登下校時、量販店、公園、遊泳場等) ③9会場14教室で実施 ④インターネット利用に関するアンケート実施、幡多っ子ネット宣言の啓発	A	①1年度目の目標校数5校に対し、実施小中学校数11校 ②年間補導人数 0人	S	少年 学 校 補 導 セ ン タ ー 課	少年補導センター活動 ①街頭巡回 ②環境浄化活動 ③学校における情報モラル教室(非行防止教室)の開催 ④インターネット接続機器のフィルタリングの普及啓発(インターネットの利用ルール啓発)			【年度毎に漸増する成果指標の記載例備忘】 ①2年度目の目標校数9校に対し、計画期間中累計実施校数●校	
	活動		社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	青少年健全育成事業の実施	○講演会(自転車冒険家のお話)の実施(1月) ○博物館クイズラリー(企画展と連動。通年) ○まちなか探偵団の実施(2月)	A	コロナ禍の中、難しいところもあったが、親子参加の事業実施など、青少年健全育成に寄与することができた。	O	社会 生涯 教育 学習 振興 課 係	青少年健全育成事業の実施				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R2年度					R3年度						
			R2 担当	R2年度の取組計画(目標)	R2年度の取組実績	取組 等達成 度	R2年度の成果・効果	成果 等達成 度	R3 担当	R3年度の取組計画(目標)	R3年度の取組実績	取組 等達成 度	R3年度の成果・効果	成果 等達成 度
6 生涯学習の振興	成果	図書環境の整備充実 【市総合計画指標】 ①図書館利用者登録率(人口比17.2%) ②市民一人当たり貸出点数(5.07冊) ③ネット予約冊数(700冊)	公民館生涯学習係	○指定管理による図書館運営 ○子ども読書活動の推進	○図書館連絡会の開催(毎月) ○子ども読書活動推進委員会(2月) ○子ども読書アンケートの実施(12～1月)	A	①図書館利用者登録率14%(目標17.2%に対し81.4%) ②市民一人当たり貸出点数4.13冊(目標5.07冊に対し81.5%) ③ネット予約冊数940冊(目標700冊に対し134.3%)	A	公民館生涯学習係	○指定管理による図書館運営 ○子ども読書活動の推進				
	成果	市立中央公民館の閉館後においても、令和元年度に実施した生涯学習事業と同等の事業展開を図る 【市総合計画指標】 生涯学習講座の参加者数400人	公民館生涯学習係	生涯学習活動の継続及び支援 ①既存施設を利用した生涯学習事業の継続 ②登録団体への支援	①・四万十シルバー教室(224人) ・中国語講座(25人) ・市民大学(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止) ・高知大学出前公開講座(3講座:54人) ・しめ飾りづくり教室(8人) ②登録団体の活動支援として、団体の施設使用料の一部負担をした。(R2.4月～R3.3月)	A	生涯学習講座の総参加者数311人/400人=77.7%	B	公民館生涯学習係	生涯学習活動の継続及び支援 ①既存施設を利用した生涯学習事業の継続 ②登録団体への支援				
	成果	(1)誰もが参加しやすい生涯学習の充実と推進 管理運営実施計画や実施設計の策定	(企画広報課文化複合施設整備推進室) 生涯学習課 公民館運営係	文化複合施設整備に係る支援 ①管理運営実施計画策定 ②実施設計策定	①・文化複合施設整備検討委員会(4回) ・市民ワークショップ(3回) ・団体ヒアリング(8/2～8/5) ②・近隣住民説明会(1回) ・公聴会(1回) ・設計協議(通年)	A	令和2年度末策定予定	—	文化複合施設整備推進室(仮称)	文化複合施設整備に係る支援 ①施設建設に係る支援及び助言				
	成果	設置目的の異なる施設を複合化した施設となるので、管理や運営に必要な事項を定め、スムーズな開館・運営を行う	(企画広報課文化複合施設整備推進室) 生涯学習課 公民館運営係	文化複合施設開館準備 ①必要備品の検討 ②運営母体の検討	①、②文化複合施設整備検討委員会(4回) 公立文化施設の管理運営に関する調査実施(6/12～7/3)	A	次年度準備業務へ向けた準備ができた。 ①建築工事で整備する備品との整理が必要なため次年度も引き続き検討する。 ②運営母体は指定管理とした。(管理運営実施計画)	A	文化複合施設整備推進室(仮称)	文化複合施設開館準備 ①条例制定 ②規則制定 ③管理運営マニュアル作成 ④指定管理者応募要領の作成 ⑤開館記念事業検討 ⑥必要備品の検討				

第2期四万十市教育振興基本計画 施策進捗状況確認シート

施策の柱	目標種別	R2～R6 成果等目標	R2年度					R3年度					
			R2 担当	R2年度の取組計画(目標)	R2年度の取組実績	取組 等達成 度	R2年度の成果・効果	成果 等達成 度	R3 担当	R3年度の取組計画(目標)	R3年度の取組実績	取組 等達成 度	R3年度の成果・効果
6 生涯学習の振興	活動	質の高い芸術文化に触れる機会を確保し、文化芸術に関わる人材の育成、団体活動の支援を行う	公民館運営係・生涯学習課・社会教育振興係	①四万十市美術展の実施 ②四万十川国際音楽祭の実施 ③四万十市文化祭の実施	①運営委員会(2回) ・四万十市美術展(11月。入場者1,031人) ② ・実行委員会(5回) ・中響演奏会in西土佐(9月) ・県立美術館他主催コンサート(1月。共催事業) ・ジュニア弦楽アンサンブル講座(R2.7月～R3.3月) ③ ・執行委員会(2回) ・文化祭参加団体への支援(R2.8月～12月。参加団体19団体) ・合同文化祭の実施(11月)	A	コロナ禍で感染対策等の困難はあったが、市民が芸術に親しむ機会と自ら参加する場を提供、文化芸術の振興に寄与した。	○	公民館運営係・生涯学習課・社会教育振興係	①四万十市美術展の実施 ②四万十川国際音楽祭の実施 ③四万十市文化祭の実施			
	活動	人権問題の学習機会の充実を図る	生涯学習課	①人権教育推進講座の開催 ②人権教育研究大会の開催	①人権教育推進講座(11～12月。計4回。延べ76名参加) ②市人研大会はコロナ感染防止のため中止	B	コロナウイルス感染防止のため人権教育研究大会は中止となったが、人権教育推進講座を開催し、十分ではないかもしれないが、学習機会を創出した。	△	生涯学習課	①人権教育推進講座の開催 ②人権教育研究大会の開催			
	活動	男女共同参画意識の形成を図る	生涯学習課	①男女共同参画講座の開催 ②男女共同参画計画の推進	①男女共同参画講座37回 ② ・男女共同参画計画推進協議会開催(2回) ・広報啓発(1回) ・地区婦人会謝金(4回)	B	働く婦人の家の解体後も男女共同参画講座を継続し、また婦人活動を支援することにより男女共同参画意識の形成が図られた。	○	生涯学習課	①男女共同参画講座の開催 ②男女共同参画計画の推進			
7 スポーツの振興	成果	①教室後のアンケート調査において満足群の参加者の割合を高める。 満足群率目標80% ②【市総合計画指標】1人当たりの社会体育施設利用者数(5.0回人口比)	生涯学習課	スポーツ人口の裾野拡大及び市民スポーツの普及 ①スポーツ体験教室 ②日本体育大学スポーツ等連携事業 ③体育施設の計画的な老朽化対策(四万十市公園施設長寿命化計画)	①コロナ禍により不実施、スポーツ少年団活動については代替事業として活動広報を実施。 ②コロナ禍により不実施 ③ア.スポーツセンターアリーナ、卓球場、武道場の床改修工事 ウ.温水プール火災受信機及び自動塩素供給システム更新	B	①体験教室不実施のため、アンケート不実施につき評価不能 ②令和2年度3.4回(2月時点集計、目標に対し68%)	C	生涯学習課	スポーツ人口の裾野拡大及び市民スポーツの普及 ①スポーツ体験教室 ②日本体育大学スポーツ等連携事業 ③体育施設の計画的な老朽化対策			
	活動	①交流人口増大 ②地域経済活性化 ③市民スポーツ意識の向上 ④競技力の向上	生涯学習課	四万十川リバーサイドフルウォークの実施	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	C	不実施により効果不明	△	生涯学習課	四万十川リバーサイドフルウォークの実施			
				四万十川ウルトラマラソンの実施	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止	C	不実施により効果不明	△		四万十川ウルトラマラソンの実施			
				スポーツ合宿等の誘致活動	新型コロナウイルス感染症拡大のため各大学等の合宿中止	C	不実施により効果不明	△		スポーツ合宿の誘致活動			
									西日本一般男子ソフトボール大会				

○目標種別

成果 = 施策に「主な取り組み表」があるものは「成果」目標があるものとして取り扱い、「成果」を選択する
 活動 = 施策に「主な取り組み表」が無く、また本文に成果目標が無いものは「活動」を選択する
 ※「活動」の場合、各施策の本文中で目指している「効果」を効果目標として記入する。

○取組等達成度評価区分

S=計画以上の実施
 A=計画通り
 B=実施内容が計画より低水準
 C=未実施

○成果等達成度評価区分

・成果区分(目標種別が「成果」の施策)
 S=達成度が105%以上
 A=達成度が90%以上105%未満
 B=達成度が70%以上90%未満
 C=達成度が50%以上70%未満
 —=成果が確認できなかったもの

・効果区分(目標種別が「活動」の施策)

○=良い効果が得られたもの
 △=効果が無いか、効果影響の良否が不明となったもの
 ×=悪い効果となったもの